

「手差しセットフリー」を「無効」に設定した場合の注意点

対象機種：5577-A01/A03/A05/M01/M03/M05、E3080

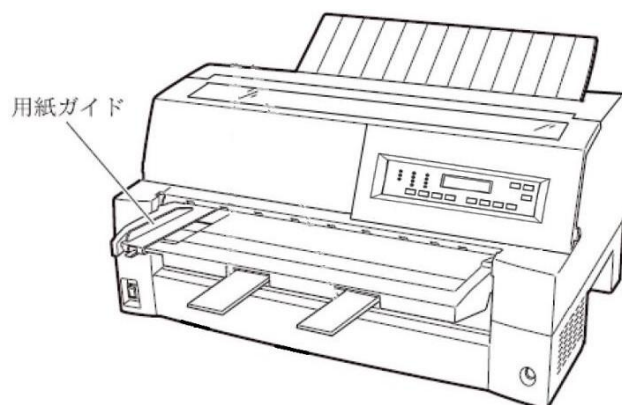
5577A/M モデルおよびE3080は、「手差しセットフリー」機能を搭載しており、単票テーブルのどの位置からでも用紙を吸入でき、どの位置から給紙しても同じ位置に印刷できます。この機能の初期値設定は「有効」となっています。

ただし、例えば単票テーブルから数種類の帳票を印刷し、それぞれの左側印刷開始位置が異なる場合などは、「手差しセットフリー」機能を「無効」に変更してご使用いただく必要があります。

この文書では、「手差しセットフリー」機能を「無効」にしてご使用いただく場合の注意点を以下に記します。

記

1. 「手差しセットフリー」を「無効」にしてご使用の場合、単票テーブルの用紙ガイドに沿って用紙の左端を当てて、用紙先端が奥に軽く突き当たるまで、まっすぐに差し込んでください。その後用紙が自動的に印字開始位置まで送られます。



2. 「手差しセットフリー」を「無効」にしてご使用の場合、用紙ガイドの左側を目盛り 0(mm)の位置に合わせると、第1ドット目が用紙の左端より 5.08mmの位置に印字されます。

(右の写真は目盛りが見やすいように用紙ガイドを 0(mm)より更に右側に合わせています。)



3. 「手差しセットフリー」を「無効」でご使用の場合、用紙が斜めに給紙されたこと（吸入斜行）を検出すると、吸入後キャリアが移動した後に用紙が排出されず。この場合用紙を傾かないようにセットし直してください。
4. 用紙をまっすぐ入れても上記3. の状態が繰り返される場合、「斜行検出」を「無効」にすることで回避できる場合があります。「斜行検出」を「無効」にする方法は、以下の(*)を参照ください。

【重要】「斜行検出」を「無効」にすると、用紙が斜めに給紙されてもそのまま印刷してしまい、印字結果が斜めになってしまいます。用紙ガイドを使用して用紙をまっすぐ給紙するようにしてください。

- (*) 印刷不可状態にして [下段選択] スイッチを押す
[◀]または[▶]スイッチを押して「ソタ/セテイ」を表示させる
[設定]スイッチを押して、下のレベルに移動する
[◀]または[▶]スイッチを押して「シャウケソツ」を表示させる
[設定]スイッチを押して、下のレベルに移動する
[◀]または[▶]スイッチを押して「ムウ」を選択する
[設定]スイッチを押す。設定値の先頭に「*」が表示される。
[印刷]スイッチを押し設定登録メニューを表示させる。
[微調▲]スイッチを押して設定を登録する。

5. 「手差しセットフリー」を「無効」にしてご使用時に、用紙のセットをゆっくり行い過ぎると、規定時間内に吸入動作が完了しないため、用紙吸入途中で排出されることがあります。この場合もう少し早く用紙をセットしてください。

以上